

## 若手会員の会 活動報告

<http://jweld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

### 平成 24 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告

若手会員の会 運営委員会 副委員長 門井 浩太 (広島大学)

Report: WELNET Evening Forum at JWS National Meeting in Spring 2012

溶接学会春季全国大会において、若手会員の会イブニングフォーラムを開催しました。今回は「若手研究者・技術者の海外留学・海外勤務の経験を聴く」と題し、若手研究者・技術者の海外留学・勤務における経験を講演いただきました。

日 時：平成 24 年 4 月 11 日 (水) 17:30 ~ 19:20

場 所：ATC (アジア太平洋トレードセンター)

0's 南 6 階 B7 会議室

参加者：約 40 名

プログラム：

17:30-17:35 開会の挨拶

大阪大学 大学院工学研究科 高嶋 康人 氏

17:35-19:20

(1) 「オハイオ州立大学に滞在して」

東北大学 大学院工学研究科 藤井 啓道 氏

(2) 「海外超大型プロジェクトの建設現場勤務を経て」

千代田化工建設 (株) 品質管理部 荻田 玄 氏

(3) 「ウォータールー大学に滞在して」

大阪大学 大学院工学研究科 森 裕章 氏

18:35-18:50 閉会の挨拶

大阪大学 大学院工学研究科 高嶋 康人 氏

1 件目の講演は、東北大学 藤井氏よりオハイオ州立大学への留学に関してご講演いただきました (図 1)。平成 22 年 3 月より 1 年間留学されたオハイオ州立大学や溶接工学研究所、オハイオ州の紹介に加え、住居の手配や運転免許書の発行など、生活の準備に関する苦労話もご紹介いただきました。

2 件目の講演は、千代田化工建設 荻田氏よりカタールでの海外勤務についてご講演いただきました (図 2)。世界最大級の LNG プラントの建設プロジェクトの詳細やカタールでの経験などをご説明いただきました。通常の講演では聞くことのできない超大型プロジェクトの製造



図 1 藤井氏による講演



図2 荻田氏による講演

現場の実態など、大変聞き応えのある内容でした。また、現地の作業員は近隣各国から来ているため、宗教や文化の異なる集団での業務遂行の大変さを実感することで感じる価値観や考え方などが変わったことなどをご講演いただきました。講演の最後にお話しされました「構造物の大型化≠相似設計」ということを実際のトラブルから身を持って感じられたとのコメントは、製造業に関わる研究者・技術者として常に念頭に置かなければならないと感じました。

3件目の講演は、大阪大学 森氏よりウォータールー大学での客員研究員としての海外勤務についてご講演いただきました(図3)。カナダやオンタリオ州、大学のご紹介、取り組まれた研究内容のご説明をいただきました。また、現地での生活環境については、住居の手配に大変苦労されたこと、飲酒に対して大変厳しい土地柄であったための苦労話、自然豊かな土地での休日の過ごし方など、経験されたことを余すところ無くご紹介頂き



図3 熱弁を振るわれる森氏

ました。研究や生活におけるトラブルを通して、「英語に自信がなくても積極的にコミュニケーションを取ること」が何事においても必要不可欠であり、現地での道を切り開くカギとなることをおっしゃられており、今後海外進出の機会があるであろう聴講者にとって、心に刻むべきアドバイスとなったのではないのでしょうか。

いずれの講演におきましても、通常の講演では聞くことのできない溶接分野における若手研究者・技術者の海外留学・勤務の経験について研究や業務の内容だけでなく、現地での生活環境や若手の目線で感じたことなどをお話しいただき、海外進出を控える若手会員にとって非常に有意義なフォーラムとなりました。講演者の方々に改めて感謝の意を表するとともに、本フォーラムを開催するにあたり、ご尽力いただきました若手会員の皆様、参加して頂いた皆様と関係各位に心より御礼申し上げます。



図4 参加者の集合写真